

生誕  
130年

# 武井武雄

TAKETO TAKEI  
幻想の世界へようこそ  
Welcome to the World of Fantasy



① 《おもちゃ繪諸國めぐり 宮城》 武井武雄 制作年不詳 伝承木版・和紙 © 岡谷市/イルフ童画館



Meguro  
Museum of  
Art, Tokyo



東京新聞140th

主催：目黒区美術館、東京新聞、岡谷市  
企画協力：イルフ童画館

2024.7.6<sup>SAT</sup>—8.25<sup>SUN</sup>

10:00—18:00 (入館は17:30まで)

月曜休館(ただし7/15[月祝]と8/12[月休]は開館、7/16[火]と8/13[火]は休館)

一般900(700)円、大高生・65歳以上700(550)円、中学生以下無料

\*障がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

\*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引と併用はできません)

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36  
Tel. 03-3714-1201 <https://www.mmat.jp>

目黒区美術館



## 展覧会概要

大正期、子どものための文化が目覚ましく開花しました。1918（大正 7）年には児童雑誌『赤い鳥』が創刊され、「童謡」が誕生します。伝承された昔話や民話だけでなく、これらを基に新たに創作された物語、さらに全く新しい創作童話も発表されました。しかし、当時出版された挿絵は、物語の添え物としかみなされませんでした。このような状況下で、子どものための芸術こそ本物の芸術でなければならない、そのために「童画」という言葉を発案し、これを一つのジャンルとして確立することを目指し、活動した人物がいました。その人こそ武井武雄（1894-1983）です。今年、生誕 130 年を迎える武井の豊富な創作活動をふりかえる展覧会を開催いたします。

武井は「童画家」として活躍する一方、版画家、デザイナー、教育家としても大いに活躍しました。さらに、郷土玩具収集にも没頭し、『郷土玩具 東の部西の部』（1930年）の出版により初めて郷土玩具を体系的に紹介するという研究者としての一面もありました。

本展では、豊かな幻想世界を通じて子どもたちに夢を与える〔童画〕、銅版画や木版画など多様な技法で制作された〔版画〕、装丁・函（はこ）・本文・絵で構成される総合芸術で「本の宝石」とも称される〔刊本作品〕を軸に、原画類やデザインの仕事など、多岐にわたる武井の幻想にあふれる世界をご紹介します。巡回展である本展において目黒会場のみの展示として、武井と日本童画会で志を共にした目黒ゆかりの作家、秋岡芳夫の童画作品もあわせて展示いたします。

さらに、「アウト・オブ・民藝 武井武雄編」では、展示とトークイベントを通して武井の関連人物を相関図で紐解きます。他にも、武井の生涯と作品を解説する講演会など、様々な角度から武井芸術の魅力に迫ります。



② 《星曜日》 武井武雄 1965年 水彩、クレヨン・紙



武井武雄  
1894-1983

長野県岡谷市に生れる。「子どもの心にふれる絵」の創造を目指して、自ら『童画』という言葉を生み出し、大正から昭和にかけて童画、版画、刊本作品、玩具やトランプのデザインなど様々な芸術分野に活躍し、いつも探求心をもって生涯挑戦を続けました。

⑥ 武井武雄 1970年

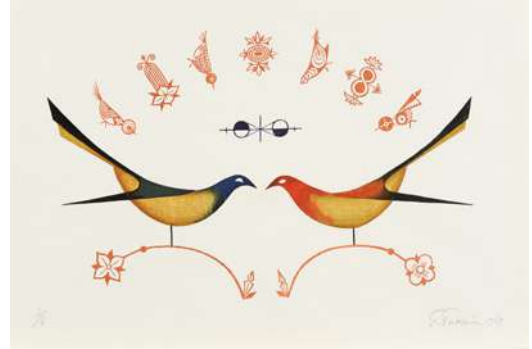
## 展示構成

### 1 童画



③ 《おやゆびひめ》 武井武雄 1965年 クレヨン、水彩

### 2 版画



④ 《鳥の連作 No.7》 武井武雄 1969年 木版画

### 3 刊本作品



⑤ 刊本作品 | 左上から時計回り: No.49『Harem』1961年 アププリケ / No.55『ラムラム王』1964-65年 絵入童話 / No.63『祈祷の書』1966年 S ベランの本 / No.31『木魂の伝記』1957-58年 寄せ木細工 / No.59『人魚と嫦娥』1965-66年 螺鈿細工 / No.108『ナイルの葦』1980年 パピルス紙、凸版

作品画像②～⑥すべて © 岡谷市 / イルフ童画館

### 4 デザイン

### 5 木にとまりたかった木のはなし

### 6 武井武雄が思う平和とは？

目黒区美術館のみの展示

日本童画会と秋岡芳夫  
アウト・オブ・民藝 武井武雄編

開催情報

|       |   |
|-------|---|
| タイトル  | 生誕 130 年<br><b>武井武雄展 幻想の世界へようこそ</b>   |
| 会 期   | 2024 年 7 月 6 日(土)ー 8 月 25 日(日)  |
| 会 場   | 目黒区美術館 (東京都目黒区目黒 2-4-36)  |
| 開館時間  | 10:00ー 18:00 (入館は 17:30 まで)   |
| 休 館 日 | 月曜日 [ただし、7/15(月祝)と 8/12(月休)は開館、7/16(火)と 8/13(火)は休館]   |
| 観 覧 料 | 一般 900(700)円、大高生・65 歳以上 700(550)円、中学生以下無料<br>※障がいのある方とその付添者 1 名は無料、( )内は 20 名以上の団体料金<br>※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります<br>(他の割引と併用はできません) |
| 主 催   | (公財) 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、東京新聞、岡谷市  |
| 企画協力  | イルフ童画館  |
| 交通機関  | JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線 「目黒」駅(西口)から徒歩 10 分<br>東急東横線・東京メトロ日比谷線 「中目黒」駅から徒歩 20 分<br>東急バス 「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩 5 分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩 3 分            |
| 巡回情報  | 本展覧会に続いて、石川、愛知に巡回予定です。  |

関連催事

■講演会「武井武雄の生涯と作品」

日時：7 月 6 日(土) 14:00ー 15:30

場所：ワークショップ室 参加方法、定員：当日先着順、50 名程度

講師：山岸吉郎(イルフ童画館館長)

武井作品を多数所蔵するイルフ童画館の館長をお招きして武井作品の魅力をお話いただきます。

■大人のための美術カフェ

日時：8 月 3 日(土) 16:00ー 17:00

場所：ワークショップ室 参加方法、定員：当日先着順、20 名程度

本展の担当学芸員が武井武雄刊本作品の魅力についてお話しします。数冊の刊本作品を手にとってご覧いただけます。

■トークイベント「武井武雄のネットワーク」

日時：8 月 24 日(土) 15:00ー 16:30

場所：ワークショップ室 参加方法、定員：当日先着順、50 名程度

講師：軸原ヨウスケ(デザイナー/アウト・オブ・民藝)、中村裕太(アーティスト/アウト・オブ・民藝)

民藝運動周辺から見たネットワークを立体的な相関図に表す「アウト・オブ・民藝」の活動を行う講師をお招きし、武井武雄を中心としたネットワークの見どころを語っていただきます。

この他にも同時開催ワークショップ 2024 夏「武井武雄ワンダーランド」で武井武雄に関する講座を開催予定です。  
詳しくはホームページなどをご覧ください。

※混雑時は人数を制限する場合があります。 ※入場には当日有効の展覧会観覧券が必要です。

広報用写真

本リリース掲載の図版 ①～⑥を本展広報用写真としてご提供いたします。

ご希望の方は、申込用紙(4 ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をご記入いただき、

FAX でお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

本展の問合せ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 重田 / 広報担当(事務) 竹森

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328

e-mail: mmatoffice@mmat.jp <https://www.mmat.jp>

生誕 130 年

## 武井武雄展 幻想の世界へようこそ 広報用画像申込書

宛先：目黒区美術館「生誕 130 年 武井武雄展 幻想の世界へようこそ」担当者 宛

FAX：03-3715-9328 E-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要な事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の図版番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

|                  |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| お申し込み日           | 年 月 日   |  |  |
| 御社名              |   |  |  |
| ご担当者氏名           |   |  |  |
| 住所               | 〒   |  |  |
| TEL              |   | FAX  |  |
| E-mail           |   |  |  |
| 掲示媒体名<br>(雑誌名など) |   |  |  |
| メディアの形態          | 【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 ( )<br>【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ( ) |  |  |
| 発行・放送予定日         | 年 月 日   |  |  |
| ご希望の画像           | 図版番号<br>①～⑥のご希望の図版番号をご記入ください  | 使用条件等<br>*写真画像への文字載せは不可です。<br>*原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。<br>但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の<br>適宜調整を許可する場合があります。<br>*各作品のキャプション及びクレジット「© 岡谷市 / イルフ<br>童画館」を必ず明記してください。 |  |
| 連絡欄              |   |  |  |

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。  
お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。  
必ずご確認くださいませますようお願いいたします。

### 【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Webサイトは公開後にURLをお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券  
(5組10名様)を读者プレゼント用に提供いたします。  
ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [ 希望する ・ しない ]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館  
TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328  
展覧会担当：(学芸) 重田  
(広報・事務) 竹森